

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
J Pharmacol Exp Ther	Relation between mRNA expression level of multidrug resistance 1/ABCB1 in blood cells and required level of tacrolimus in pediatric living-donor liver transplantation	乾 賢一	薬剤部
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol	Regulatory mechanism governing the diurnal rhythm of intestinal H ⁺ /peptide cotransporter 1 (PEPT1)	乾 賢一	薬剤部
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol	Regulation of basal core promoter activity of human organic cation transporter 1 (OCT1/SLC22A1)	乾 賢一	薬剤部
Am J Physiol Cell Physiol	Identification and functional characterization of a novel human and rat riboflavin transporter, RFT1	乾 賢一	薬剤部
Pharm Res	MDR1 Haplotypes Conferring an Increased Expression of Intestinal CYP3A4 Rather than MDR1 in Female Living-Donor Liver Transplant Patients	乾 賢一	薬剤部

計185

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 中村 孝志
管理担当者氏名	薬剤部長 乾 賢一, 総務課長 吉原 正啓 医務課長 吉野 孝行, 医療安全管理室長 長尾 能雅 医療サービス課長 鹿島 功介, 医療情報部長 吉原 博幸 感染制御部長 一山 智, 医療器材部長 坂井 義治

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録	各科診療日誌, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	各診療科及び医務課	・平成19年9月より一部の診療科を除いて入院カルテは廃止し、入院中に発生した紙媒体の診療記録等データについては外来カルテの中に入院関係分として設けた区分の所に時系列に綴じ込んだ上で、1患者1カルテとして病歴管理室で保管。	
	エックス線写真	医務課	・外来カルテは、1患者1カルテであり、病歴管理室で保管。	
	処方せん	薬剤部	・電子化されたカルテ(入院及び外来カルテ)は、1患者1カルテであり、電算機室で保管。	
	病院日誌	総務課		
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課		
	高度の医療の提供の実績	医務課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医務課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医務課		
	入院患者数, 外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課 薬剤部		
	規則第9条の23及び第1条11各号に掲げる体制の確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全管理室		
医療機関内の事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第12)

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療器材部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療器材部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療器材部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療器材部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 松ヶ迫和峰
閲覧担当者氏名	総務課長 吉原正啓
閲覧の求めに応じる場所	総務課内

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	72.4%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		13,664人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,899人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		2,488人
	D：初診の患者の数		26,842人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (5 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (4) 名・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 医療事故発生時の初動対応と事例調査2. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業3. 各部門からのインシデント・アクシデントレポート収集と、サーベイランス・分析・対策立案4. 医療安全に関する部門連携・委員会活動5. 職員、学生などへの医療安全教育6. 医療安全における大学間・病院間・地域間連携	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 病院の基本理念2. 院内の責任体制及び管理体制の明確化3. 安全管理のための各種委員会の設置及びリスクマネージャーの配置並びに医療安全管理室の設置4. 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策5. 医療事故発生時における対応について6. 安全管理に係る研修の実施7. マニュアル・対応指針等の作成8. 情報の共有と開示について9. 患者からの相談等への対応	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 医療事故を防止する方策の検討及び実施2. 医療事故防止マニュアル等の策定・改善・普及等3. 発生した医療事故又は発生する危険のあった医療事故等に関する情報収集及び分析並びに防止のための改善策の検討・実施4. 医療事故防止のための研修・講習・教育等の実施5. 重要事例の対応決定6. その他医療事故の防止に関する全般事項	

- ・ 研修の主な内容：
医療事故防止に係る職員の意識改革と安全管理意識の高揚並びに医療資質の向上を図るため、次のとおり教育・研修・講演会を開催した。

●全職種対象

(医療安全管理に関する講演会)

日 時：平成20年5月14日(水)

講演者：社団法人 日本航空機操縦士協会 常務理事ANA査察機長 根本裕一氏

演 題：「“そら”の知を医療へー考える機長を育てるー」

参加者：739名(医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他)

(医療安全管理に関する講演会：医薬品安全使用研修会)

日 時：平成20年6月9日(月)

講演者：薬剤部 寺田智祐 副薬剤部長、薬剤部 深津祥央 薬品情報掛長、

医療安全管理室 長尾能雅 室長

演 題：『抗がん剤注射薬オーダーリングから払い出しに至るまでの流れと注意点について』、『薬剤オーダーのチェックシステムとその注意点について』、『高濃度カリウム製剤使用法について』

参加者：309名(医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他)

(医療安全管理に関する講演会)

日 時：平成20年8月29日(金)

講演者：武蔵野赤十字病院医療安全推進室長 呼吸器外科部長 矢野真氏

演 題：「医療安全への終わりなき挑戦～キーワードは全員参加～」

参加者：416名(医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他)

(医療安全管理に関するビデオ上映会)①②

日 時：平成20年9月25日(木)

参加者：73名(医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他)

(医療安全管理に関する講演会)

日 時：平成20年10月8日(水)

講演者：自治医科大学 麻酔科学・集中治療医学講座 主任教授 瀬尾憲正氏

演 題：「周術期肺血栓塞栓の予防対策」

参加者：430名(医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他)

(医療安全管理に関するビデオ上映会)③④

日 時：平成20年10月20日(月)

参加者：60名(医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他)

(院内事例報告会)

日 時：平成20年11月13日(木)

講演者：血液・腫瘍内科、北7階病棟、医療安全管理室

演 題：「患者誤認・取り違い事故防止のために」

参加者：357名(医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他)

(医療安全管理に関するビデオ上映会)⑤⑥

日 時：平成20年11月18日(火)

参加者：49名(医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他)

(医療安全管理に関する講演会)

日 時：平成20年12月2日(火)

講演者：京都府立医科大学附属病院 臨床検査部部长 藤田直久氏

演 題：「感染対策～基本中の基本とピットフォール」

参加者：270名(医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他)

(医療安全管理に関するビデオ上映会) ⑦⑧

日 時：平成 20 年 12 月 24 日 (水)

参加者：105 名 (医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他)

(医療安全管理に関するビデオ上映会) ⑨⑩

日 時：平成 21 年 1 月 26 日 (月)

参加者：50 名 (医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他)

(医療安全管理に関する説明会)

日 時：平成 21 年 2 月 9 日 (月)

講演者：インスリン標準化WGメンバー

演 題：「インスリン安全管理マニュアル第 2 版についての説明会」

参加者：420 名 (医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他)

(院内報告会)

日 時：平成 21 年 3 月 30 日 (月)

講演者：院内転倒・転落事故防止委員会メンバー

演 題：「院内転倒・転落事故防止委員会この一年の取り組み」

参加者：256 名 (医師、薬剤師、看護師、技師、事務、その他)

●医師対象

(医療安全管理に関する研修会) *研修医内定者オリエンテーション

日 時：平成 20 年 4 月 2 日 (水)

講 師：医療安全管理室 長尾能雅 室長

参加者：104 名 (研修医内定者)

(医療安全管理に関する研修会) *新規採用検査技師安全講習

日 時：平成 20 年 4 月 11 日 (金)

講 師：医療安全管理室 長尾能雅 室長

参加者：6 名 (新規採用検査技師)

(医療安全管理に関する研修会) *新規採用医師安全研修会①

日 時：平成 20 年 4 月 22 日 (火)

講 師：医療安全管理室 長尾能雅 室長

参加者：37 名 (新規採用医師)

(医療安全管理に関する研修会) *新規採用医師安全研修会②

日 時：平成 20 年 4 月 24 日 (木)

講 師：医療安全管理室 長尾能雅 室長

参加者：33 名 (新規採用医師)

(医療安全管理に関する研修会) *薬剤部新人講習会

日 時：平成 20 年 5 月 9 日 (金)

講 師：医療安全管理室 長尾能雅 室長

参加者：12 名 (薬剤師)

(医療安全管理に関する研修会) *中途採用医師安全管理研修

日 時：平成 21 年 2 月 3 日 (火)

講 師：医療安全管理室 長尾能雅 室長

参加者：25 名 (医師)

●看護師対象

(医療安全管理に関する研修会) *看護部新規採用者オリエンテーション

日 時：平成19年4月3日 (木)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

演 題：「安全な医療を提供するために」

参加者：156名 (新規採用看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *平成20年度 中途採用者研修 ①

日 時：平成20年4月16日(水)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

参加者：1名(中途採用看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *平成20年度 中途採用者研修 ②

日 時：平成20年5月1日(木)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

参加者：4名(中途採用看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *輸液管理研修①

日 時：平成20年6月11日(水)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

演 題：「輸液管理・血液確保のリスクマネジメント」

参加者：77名(看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *平成20年度 中途採用者研修 ③

日 時：平成20年7月1日(火)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

参加者：3名(中途採用看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *平成20年度 中途採用者研修 ④

日 時：平成20年8月1日(金)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

参加者：4名(中途採用看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *輸液管理研修②

日 時：平成20年8月15日(金)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

演 題：「輸液管理・血液確保のリスクマネジメント」

参加者：22名(看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *平成20年度 中途採用者研修 ⑤

日 時：平成20年9月1日(月)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

参加者：4名(中途採用看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *輸液管理研修③

日 時：平成20年9月26日(金)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

演 題：「輸液管理・血液確保のリスクマネジメント」

参加者：46名(看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *輸液管理研修④

日 時：平成20年11月10日(月)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

演 題：「輸液管理・血液確保のリスクマネジメント」

参加者：46名(看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *平成20年度 中途採用者研修 ⑥

日 時：平成20年12月1日(月)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

参加者：1名(中途採用看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *リスクマネジメント研修

日 時：平成20年12月10日(水)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

参加者：31名(看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *平成20年度 中途採用者研修 ⑦

日 時：平成21年1月5日(月)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

参加者：1名(中途採用看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *看護補助者研修 ①

日 時：平成21年2月4日(水)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

参加者：26名(看護補助者)

(医療安全管理に関する研修会) *看護補助者研修 ②

日 時：平成21年2月5日(木)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

参加者：26名(看護補助者)

(医療安全管理に関する研修会) *平成20年度 中途採用者研修 ⑧

日 時：平成21年3月2日(月)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

参加者：2名(看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *輸液管理研修 ⑤

日 時：平成21年3月4日(水)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

演 題：「輸液管理・血液確保のリスクマネジメント」

参加者：15名(看護師)

(医療安全管理に関する研修会) *輸液管理研修 ⑥

日 時：平成21年3月24日(火)

講 師：医療安全管理室 足立由起 師長

演 題：「輸液管理・血液確保のリスクマネジメント」

参加者：23名(看護師)

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 1. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業
 2. 安全に関する部門連携・委員会活動
 - ・ 医療安全管理委員会の定期開催
 - ・ リスクマネージャー会議の定期開催
 - ・ 薬剤関連インシデント検討会の定期開催
 - ・ 安全管理室への研修医ローテーションの定期開催
 - ・ 各診療科 RM とのインシデント検討会の定期開催
 - ・ 院内転倒転落事故防止委員会の定期開催
 3. 職員への安全教育
 - ・ 講演会・講習会・ビデオ上映・院内事例報告会
 - ・ インシデントニュースの配信

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内対策に関する基本方針 ・ 感染対策組織の概要 ・ 関連委員会及び会議の開催 ・ 感染制御部（ICT）の業務内容 ・ 感染アウトブレイク（集団発生）時の対応 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 40 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染予防対策委員会 1回/月 ・ 感染制御部（ICT）会議 2回/月 ・ 感染対策業務会議 4回/年 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 20 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成20年3月27日；職員講習会（清掃業者対象） 「清掃時における感染対策について」 清掃時に必要な感染管理を理解する。 新規採用清掃業者職員 97名</p> <p>平成20年4月3日・4月4日・5月26日；職員講習会（新規採用看護師対象） 新規採用看護師に必要な感染対策の基本的知識・技術を習得する。 新規採用看護師 156名</p> <p>平成20年3月30日・3月31日・4月2日；職員講習会（新規採用研修医対象） 新規採用研修医に必要な感染対策の基本的知識・技術を習得する。 研修医内定者 104名</p> <p>平成20年4月14日；職員講習会（放射線技師対象） 放射線業務上の感染対策とN95マスクの取扱いについて 放射線技師 20名</p> <p>平成20年6月3日；職員講習会（感染対策担当者対象） 各診療科部門へ、感染管理の重要事項について周知徹底をはかる。 各部門感染対策担当者（医師・看護師・技師・事務等） 70名</p> <p>平成20年7月30日・7月31日・8月1日；職員講習会（看護師対象） 看護師レベルアップ講習会「感染管理」 感染管理に必要な知識・技術を習得し、各部署において根拠に基づいた感染防止策を 実践、指導するため 看護師 30名</p> <p>平成20年7月19日—20日；職員講習会（医師対象） 第6回 感染症の診断と治療セミナー 感染症診断・治療・感染予防策・ケーススタディ 医師（研修医・若手） 300名</p> <p>採用時随時実施；職員講習会（中途採用看護師対象） 5月1日（4名）・7月1日（3名）・8月1日（4名） 9月1日（4名）・11月4日（4名）・12月1日（1名）・1月5日（1名） 新規採用看護師に必要な感染対策の基本的知識・技術を習得する。 新規採用看護師 21名</p>	

平成20年6月11日（77名）・8月15日（22名）・9月26日（46名）；職員講習会（看護師対象）
「輸液管理」
輸液管理における感染管理を理解する。
看護師 145名

平成20年10月6日；職員講習会（医師対象）
感染性胃腸炎対策について理解する。
救急部医師 10名

平成20年11月4日；職員講習会（医師対象）
高度耐性菌対策について理解する。
移植外科・免疫膠原病内科・糖尿病栄養内科医師 60名

平成20年11月18日；職員講習会（医師対象）
高度耐性菌対策について理解する。
呼吸器内科医師 30名

平成20年12月2日；職員講習会（全職員対象）
「感染対策基本中の基本 藤田直久先生」
正しい手指衛生について理解する。
医師・看護師・技師・事務・外注業者等 270名

平成20年12月24日；職員講習会（看護師対象）
「手術部における針刺し防止対策、手術時手洗いについて」
手術時の針刺し防止および手術時手洗いについて理解する。
手術部看護師 30名

平成20年12月25日；職員講習会（感染対策担当者対象）
各診療科部門へ、感染管理の重要事項について周知徹底をはかる。
各部門感染対策担当者（医師・看護師・技師・事務等）、外注業者 66名

平成21年1月21日；職員講習会（整形外科看護師対象）
手術部位感染サーベイランスの結果をフィードバック
整形外科看護師 20名

平成21年1月30日～2月13日；職員講習会（看護師対象）
エキスパートコース「感染管理」
感染管理における専門的な知識・技術を習得し自部署の質改善を行う。
看護師 3名

平成21年2月4日・2月5日；職員講習会（看護補助者対象）
感染管理の基本的な知識・技術を習得する。
看護補助者 52名

平成21年3月9日；職員講習会（看護師対象）
緑膿菌対策について理解する。
看護師 20名

平成21年3月30日；職員講習会（NICU職員対象）
MRSAサーベイランス結果のフィードバック
医師・看護師 10名

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)
その他の改善のための方策の主な内容：
 1. 感染対策サーベイランスの実施およびそれに基づいた感染対策の見直し
耐性菌サーベイランス (MRSA、耐性緑膿菌、ESBL、VRE、他)
カテーテル関連血流感染サーベイランス
人工呼吸器関連肺炎サーベイランス
感染性胃腸炎サーベイランス
手術部位感染サーベイランス
上気道・発熱サーベイランス
 2. 職業感染防止と曝露後対応
 - ・ 針刺しの原因分析と防止対策
 - ・ ワクチン接種と抗体の確認 (麻疹、水痘、B型肝炎ワクチン、インフルエンザ)
 - ・ 曝露後の対応 (血液体液曝露対策 (B型肝炎、C型肝炎、HIV)、結核、麻疹、水痘、インフルエンザ)
 3. 感染対策マニュアルの見直しおよび改訂作業
 4. 職員啓発活動
 - ・ 各種講演会、研修会の開催
 - ・ ICT ニュースの配布

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年13回

研修の主な内容：

医薬品での事故防止に係る本院職員の意識改革と安全管理、及び薬剤師としての資質向上のため次の通り研修会等を開催した。

○全職種を対象
(医薬品の安全使用のための研修会)

日 時：平成20年6月9日(月) 17:40～

1. 『抗がん剤注射薬オーダーリングから払い出しに至るまでの流れと注意点について』
講演者：薬剤部 寺田智祐 副薬剤部長
2. 『薬剤オーダーのチェックシステムとその注意点について』
講演者：薬剤部 深津祥央 薬品情報掛長
3. 『高濃度カリウム製剤使用法について』
講演者：安全管理部 長尾能雅 安全管理室長

参加数：309名(医師、薬剤師、看護師、事務、その他)

○薬剤師を対象
(医薬品の安全使用のための説明会)

新規採用医薬品の説明会を毎月開催し、新規採用医薬品の説明および添付文書改定情報、安全性情報、医薬品の取り扱い等についての説明及び情報共有を図っている。

開催年月日	参加人数
平成20年4月3日 (木)	45名
平成20年5月7日 (水)	55名
平成20年6月4日 (水)	55名
平成20年7月2日 (水)	53名
平成20年8月4日 (月)	49名
平成20年9月2日 (火)	44名
平成20年10月1日 (水)	51名
平成20年11月6日 (木)	50名
平成20年12月3日 (水)	47名
平成21年1月7日 (水)	50名
平成21年2月4日 (水)	51名
平成21年3月3日 (火)	50名

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

- ・ 手順書の作成 (・ 無)
業務の主な内容 :

1. 医薬品の採用
2. 医薬品の購入
3. 薬剤部における医薬品の管理
4. 病棟・各部門への医薬品の供給
5. 外来患者への医薬品使用
6. 病棟における医薬品の管理
7. 入院患者への医薬品使用
8. 医薬品の適正使用
9. 医薬品の安全使用に係る情報
10. 他施設 (医療機関・薬局等) との連携

以上の業務内容について、平成21年1月7日(水)に手順書に基づく業務の実施状況を調査した。各病棟における調査者は病棟担当者とし、薬剤部内の調査者は各担当掛長とした。調査結果および改善が必要な点については指導等の実施状況について書面で報告してもらい、記録として保存した。

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (・ 無)
・ その他の改善のための方策の主な内容 :

- (1) 院内に新規採用された医薬品について、採用されてから6ヶ月後および1年後に医師に「新規採用医薬品副作用予備調査票」を送付・回収し、院内で発生した副作用情報を収集している。
- (2) 入院患者への薬剤管理指導を通して医薬品の安全使用のために必要な情報を収集している。そこで収集・解析した情報を、本院のチーム医療検討委員会が取りまとめているセミナーで、毎月薬剤管理指導検討会を公開し、院内各職種間を超えた情報の共有によって、医薬品安全使用の改善を図っている。
- (3) 医療安全管理室担当として副薬剤部長1名が兼任し、院内の情報を収集すると共に、医薬品関連のインシデントレポートをもとに薬剤部内で毎月1回検討会を実施、業務改善の方策を立てると共に、情報を共有することで医薬品安全使用の質的改善を推進している。
- (4) 京都府下の保険調剤薬局対象で原則年2回、京大病院薬剤部が医薬分業研修会を開催し、がん化学療法等の研鑽を積むとともに相互に問題となる情報を交換し、入院治療から外来治療に至るまで一貫した医薬品安全使用の向上を図っている。

- ・ 平成20年9月15日(月) 午後1時30分～午後5時 43名出席
- ・ 平成21年2月8日(日) 午後1時～午後4時 142名出席

- (5) 処方・注射オーダーリングシステムに対し、より精緻で強力な薬剤誤投与防止機能を付加し、医療事故を未然に防止すると共に、必要となるデータベースを構築し、維持・管理している。
- (6) 病院内において、アラートメールを通じた医薬品安全性情報、緊急安全性情報の等の配布、緊急通告や医薬品の採用・削除などの医薬品情報を配信している。
- (7) 医師との連携により、外来の院外処方せん交付患者に対しても、初回投与時の抗がん剤(タルセバ)の服薬指導を開始し、副作用等の説明及びその対処を指導する事で医薬品安全使用を推進することが可能となった。

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年35回
<p>研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> *平成20年4月に新人看護師及び研修医を対象とした輸液・シリンジポンプの使用方法について研修を実施 *平成20年度中に計29回、医師・看護師・臨床工学技師を対象として人工呼吸器・人工透析装置・人工心肺装置等の使用方法、安全対策についての研修を実施 *平成20年5月・7月・11月に診療放射線発生装置等に対する医療機器安全使用のための研修を実施 *平成20年6月・11月に診療用高エネルギー放射線発生装置に対する医療機器安全使用のための研修を実施 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (☑・無) 保守点検の主な内容： *各機器の点検周期に添って臨床工学技師による点検とメーカーによる点検を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> →臨床工学技師の点検では、バッテリー・各種センサー・各種フィルター等の定期交換を実施している。 →メーカーによる修理の講習を受けた機器については簡易修理を行っている。 →高度な技術を要する修理はメーカーに依頼している。 *放射線機器については点検実施計画を作成し、各分担当者を決め定期的に点検を実施している。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： *医療機器に関する安全性情報は医療安全管理室と協力して医療従事者に周知する体制をとっている。 *安全管理の一環として病棟で使用する医療機器の機種統一を進めている。 *医療機器関連のインシデント・アクシデン報告の検討とマニュアルの整備をしている。 *メーカーの安全情報や学会等のガイドラインに添ったマニュアルの整備をしている。 *厚生労働省からの安全管理等通知に則した点検・運用の遵守。 	